

令和5年度学校評価 学校関係者評価報告書

茨城県結城看護専門学校

1 評価委員構成

評価委員…9名 内訳：実習施設関係者4名、教育機関3名、卒業生1名、行政機関1名

2 学校の自己評価に対する客観的評価

1) 評価結果

評価基準	評価人数
評価は妥当である	6人 (66.7%)
評価は概ね妥当である (課題が少しある)	3人 (33.3%)
評価はやや妥当である (課題がやや多め)	—
評価は妥当とは言えない (課題が多数ある)	—

2) 各委員からの意見

- ・教育活動のポイントが低いのが気になったが、考察等から理解できた。
- ・派遣の職員が新任者の教育を行っていくことは容易でないと考えため、支援体制の強化に期待する。
- ・今年度教育委員会を設置するなど、教育活動を積極的に進めていることが理解できた。教員の負担が増えていないか心配にもなった。
- ・新カリキュラムへの変更に伴う苦慮と努力が伺えるが、その分教職員への負担増加が懸念される。しかしその中でも工夫したこともあると思うので、もう少し加点してもよかったように感じる。
- ・細部まで丁寧に確認・評価されている。
- ・具体的評価ができていていると感じる。
- ・全体的に昨年度に比べて評価が低くなっていることが気になった。低下した原因を分析しているので次年度の改善を期待する。

3) 改善点・期待する点

- ① 大項目「教育活動」全体の見直し・改善
- ② 新任教員の支援体制の強化

3 重点目標の自己評価に対する客観的評価

1) 評価結果

評価基準	評価人数
評価は妥当である	5人 (55.6%)
評価は概ね妥当である (課題が少しある)	4人 (44.4%)
評価はやや妥当である (課題がやや多め)	—
評価は妥当とは言えない (課題が多数ある)	—

2) 各委員からの意見

- ・重点目標に対してさまざまな工夫をしていることがわかった。
- 重点目標1に対して
- ・学生募集活動に苦勞している様子が理解できた。
 - ・昨年の入学生33名から、今年度40名を確保できたのは、さまざまな工夫と努力が実った結果だと思う。
- 重点目標2に対して
- ・看護展開にあたっての教員の指導内容に差があるように感じるため改善を求める。
- 重点目標3に対して
- ・在校生に対しても丁寧なかかわりをしていると感じる。
- 重点目標4に対して
- ・学生のうちに、地域を理解してもらうこと(地域診断)は良い影響を与えると思う。

○重点目標5に対して

- ・教員の高ストレス者5名とあり、持ち帰り業務の多さや時間外業務が申告制とある。実態はもっと多いと推測される状況と思う。新任教員のサポート体制（メンタル支援含め）構築するためにもベテラン教員の支援が重要と感じた。
- ・学生確保対策への工夫や教職員の働きやすい環境に対し、さまざまな課題があるものの努力していることがうかがえる。以前にも増し、学生への指導に大きな労力を必要とする中、丁寧な指導が続けられていると感じる。そこを支える教職員の教育やワークライフバランスも可能な限り継続していただきたい。
- ・ワークライフバランスの推進については頭を悩ませる部分である。次年度の取り組みに期待する。

3) 改善点・期待する点

- ① 組織としての職場環境の改善：協働意欲の醸成・教職員間のコミュニケーションと連携の強化
- ② 新任教員の支援体制の構築とベテラン教員へ支援
- ③ ワークライフバランスの推進と教員間の業務量の調整（ともに協力し合う組織風土の醸成）

4 その他のご意見等

①学生満足度調査について

- ・学生満足度調査の評価が前年度よりも上昇していることは喜ばしい。
- ・設立から30年が経過し、設備関係の老朽化・劣化は否めないため、学習環境の調整を図っていただきたい。
- ・ある文献で「組織風土は個人の心理的安全性、組織学習、職務満足、幸福感等が相互に関連しながら醸成され、その結果が対象（学校ならば学生）に反映される」とあった。まさに学校長をはじめとして専任教員のみなさんの日々の努力が学生の満足度調査に反映されていると推察される。

②公開授業や行事等について

- ・昨年に増し保護者の参加が多く、教育への関心の高さを感じた。どのような教育がおこなわれているのかを目の当たりにすることにより、学校の学生に対する姿勢も伝わるのでぜひ継続していただきたい。
- ・地域に輩出された卒業生を地域で支えていくためにも、近隣医療機関との連携も継続していただきたい。

③その他

- ・事前にいただいた資料はとてもわかりやすく、先生方の熱心な取り組みがわかった。
- ・決め細やかかつ丁寧に評価されていると感じた。評価項目を絞り込んだことでの問題は特にないと思う。
- ・新たに教育委員会を立ち上げ、その実習調整者・学年担任を加え、隔月で活動していることはとてもよい取り組みだと思う。
- ・公開授業・地域貢献・学生の生活指導等、新たに増えた業務も多いと思われるが、今後とも学校長はじめ教職員同士の対話を増やし、風通しを良くして結城看専の組織風土を守っていただくことを願う。
- ・適正に運営されていると思う。学生のため・教員のために引き続きの尽力を求める。
- ・教員みなさんのワークライフバランスやメンタル支援など、大変な課題への取り組みと思う。先生方の健康を大事にしてほしい。
- ・よりより教育支援のために先生方が努力している現状が伝わった。次年度もぜひ継続して取り組んでほしい。
- ・実習期間中に担当教員が不在の際、学生が立案してきた計画がどうしても実施できないものが出てしまった。実習初日に教員不在日を教えてもらえてあると調整が図れたことがあったので、できれば今後も教員の予定表をいただきたい。
- ・当該病棟指導担当教員が不在時、他病棟指導担当教員が指導の合間を見て巡回し、対応してくれたので、安心して指導に当たれた。
- ・Zoomの「音声」が聞き取りにくかったのは残念だった。
- ・今後とも学校と密にコミュニケーションを図りながら学生の育成に努めていきたい。病院側に要望等があれば教えてほしい。